

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人幸輝会	代表者	国富隆夫	法人・事業所の特徴	・『ひとりひとりが「らしく」笑顔で過ごせる毎日を～利用者様にやさしい心とあたたかい手を～』を行動目標に一人ひとりの個別性や思いを受け入れ「～したい」の実現に向けて、できる力を広げ、自宅を中心にした在宅生活の継続できるよう取り組んでいる。
事業所名	かたらい	管理者	吉田茂美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	8人	人	1人	人	1人	4人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・個別の担当者が「興味関心チェックシート」を利用し「～したい」の実現を具体化していく	・日頃の会話から興味があることやしたい事等本人の思いを聞く事ができ、情報共有しながらできる限り実現に向けて取り組むことができた	・全体的に良くできている。できていないと評価した項目について状態把握に努め対応策を蓄積していけば良いのではないかと	・事業所が示した改善計画ののって具体的にを行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・安心できる居場所として、引き続き、利用者様にとって快適で過ごしやすい空間を根ざしていく。	・安心して生活できる場になっている。家族の方や友人、近所の方が気軽に立ち寄れる場所になっていると思う。	・地域高齢者は入りにくいのではないかと ・高齢者だと足がなく送迎をしなければ参加者が増えないのではないかと	・安心できる居場所として、快適で過ごしやすい空間にしていく。 ・地域の方にも利用して頂けるよう工夫する
C. 事業所と地域のかかわり	・地域交流会の年間計画を立て開催する。	・地域交流カフェの開催を今年度は一度のみの開催だった。来年度はもう少し開催できるように努めたい	・地域交流スペースを有効活用し、地域交流、サロン等開催を検討しニーズの掘越ができる「場」の提供ができる様にしてはどうか。	・地域交流カフェを開催する ・町内行事に参加することで地域との関係をより良いものとしていく。 ・地域への貢献ができる様に具体案を考えていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・個々が親しんだ所や行きたい場所に出かけていく。	・個々で町内の活動に参加したり、学区や保育園の催し物に参加する事ができ大変喜ばれていた	・地域の活動に対してしっかり情報収集を行い参加してもらいたい。 ・地域からも情報提供をしようと思う	・個々が親しんだ所や行きたい場所に出かけていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・しっかり意見が頂けるような会を考えていきたい。	・意見をいただけるよう工夫しながら会を勧めている。困難事例などの報告ができていない	・地域のニーズの把握に努めるようにしたい。 ・地域の方からも生活の困難な方や問題等があれば情報提供してもらい、対応策等を考えていきたい	・しっかり意見が頂けるような会を考えていきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・地域の代表者ある運営推進委員の皆様と事業所の職員とで合同の避難訓練を行う。	・避難場所になっている事は職員会議や運営委員会等で周知を行っている。	・地域住民の方も「避難準備」「高齢者等開始」が発令された際は、事業所に電話をして柔軟に対応してほしい。 ・事業所側も柔軟に受け入れ対応を行うよう努めていく	・地域の代表者ある運営推進委員の皆様と事業所の職員とで合同の避難訓練を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	12 人	人		14 人

前回の改善計画
 ・情報を共有するツールとして基本情報シートを作成し、ADL や状態、対応策、気をつけることなどの把握に努め、その情報をもとに職員間でコミュニケーションを取りながらその方を積極的に知ろうと (理解) する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・基本情報を元に、利用者様と興味のある話題で話を広げる事ができた。
 ・また ADL や対応策、気をつけることなど繰り返し基本情報の確認をしたり、職員間で情報を共有しながら、できるだけ同じ対応ができ、利用者様が安心して過ごせる様気を配ることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5 人	9 人			14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		14 人			14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4 人	10 人			14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		9 人	5 人		14 人

できている点
 ・利用開始前に月 1 回の会議や毎日の夕方のミーティングで情報の確認、共有を図るとともに基本情報を繰り返し見ることによって情報の確認をしている。
 ・初利用時には職員から自己紹介をしながら挨拶を行い、場の雰囲気馴染めるよう席を考える等配慮している。訪問に対しても職員の顔つなぎをしながら不安がないように行っている。
 ・不安な様子の利用者様に対しては、寄り添い傾聴することで徐々になじみの関係を作っている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・初期の段階で家族の思いや不安を受けとめることがむずかしい
 ・情報が少ない人や急な受け入れの場合、利用開始前に職員全員が情報を把握する事ができない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ・ご本人ご家族のそれぞれの思いをしっかりと聞き取り情報収集を行う。
 ・利用前に見学に来ていただき事業所の様子を確認することで不安を解消してもらうようにする。
 ・利用開始からコミュニケーションをしっかりと取り、安心して利用して頂けるよう信頼関係を築いていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	7 人	1 人	14 人

前回の改善計画

- ・介護過程の展開 (アセスメント→プラン確認→実施・モニタリング→評価) を理解する。
- ・どんなことがしたいといっても出てこないことが多い為基本情報を中心に生活してきたことや興味などから関心があることを探っていく。必要によっては、興味関心チェックシートを利用してみる

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・本人の会話の中から興味があることやしたい事を聞きだし夕方のミーティングと申し送りノートで情報共有できている。
- ・行事や日々の「～したい」には個々に確認し選択できるような工夫をしながら利用者様の声を聴き、思いが実現できるように対応できたと思う

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		8 人	5 人	1 人	14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8 人	6 人		14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8 人	6 人		14 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3 人	3 人	8 人		14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・行事や日々の生活についてはしたい事を選択して頂き、希望に添える様に対応する事ができた
- ・個々の対応からやりたいことを見つけ、役割を持ってもらいながら対応できた
- ・毎日のミーティングで、実際にできたことや表情など情報共有できている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・会話の中でやりたいことや興味を持っている事を聞き出し職員間で共有するが、話しだけで終わってしまうこともあり、そのことについて実現できるまでの目標設定ができていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・今できている事が、継続できるよう声掛けや手助けを行う。
- ・当面の日々の「～したい」を実現することで本人の思いをくみ取り、やりたい気持ちや目標達成に向けて行動していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	4 人	2 人	14 人

前回の改善計画
・担当利用者についてアセスメントシートをもとに日常生活支援シートを作成し、変化のあった際はその都度書き加えることで、事業所職員全員が状態や変化を把握しやすくしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・日常生活支援シートの作成に対して少しずつ実行できていると思うが全員ができているわけではない。また変化があった際の書き入れもなかなか実行できず、申し送りノートに記載されたことで職員がそのノートで把握している為日常生活支援シートの活用が不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2 人	8 人	4 人	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6 人	7 人	1 人		14 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8 人	6 人		14 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6 人	7 人	1 人		14 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5 人	8 人	1 人		14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様の個々の状況に合わせた対応ができている。またその変化をその都度、職員同士で話しあい対応し申し送りノートで全員把握している。
・月 1 回の会議でも今の状況を話し合うことができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・意欲低下の利用者様や愚痴や不満ばかりの利用者様に対しては気持ちをくみ取ったとしても以前の暮らしに少しでも近づけるためのアプローチがむずかしい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・アセスメントを行う時、担当職員や看護師も一緒に行い、状態の把握に努める。
・日常生活支援シートをしっかりと活用し、変化に合わせて書き込みを行い情報共有を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7 人	7 人		14 人

前回の改善計画
・今期も引き続き近所の方との挨拶コミュニケーションを取り情報収集をしていき、日常生活支援シートに書き込んでいく

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域の方への挨拶や日頃のコミュニケーションにより知り得た情報は夕方のミーティングや会議で職員間で口頭や申し送りノートで情報共有できている。日常生活支援シート活用については不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		12 人	2 人		14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1 人	10 人	3 人		14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5 人	9 人		14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3 人	7 人	4 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族のできる事や今までしてきたことを無理のない程度で継続してもらう様に家族とのコミュニケーションを大切にしている
・地域での様子や今までの人間関係を大切にできるよう、できる限り情報を得る様に努力している。
・地域の方への挨拶やコミュニケーションは送迎や訪問の時以外にでも必要に応じて対応している
・地域と関係性が無くなりつつある利用者様に対しても送迎時など声をかけてくれる方もいらっしゃるその都度職員が対応し、夕方のミーティングで情報共有している

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・一人暮らしの利用者や認知症の方は事業所外の様子が把握することがむずかしい

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・送迎時や訪問時、ご家族との会話や近所の方との挨拶、コミュニケーションを取ることで情報収集を行い、日常生活支援シートに書き込み活用していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	10 人		1 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きできる限り本人の気持ちや家族のニーズに沿った「通い」「訪問」「泊まり」サービスなど多様にサービスを柔軟に対応していく 本人が地域の中で生活していく為に地域の関係づくりや地域の方へのアプローチや声掛け、情報収集などを行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ご本人やご家族の要望だけでなく、退院後の自宅復帰や台風時など体調に合わせて不安な気持ちを受けとめ「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に組み合わせ対応できている 徘徊がある利用者様に対して近所へのアプローチや地域包括や警察などと話し合いを行い職員、家族で支えようと関係作りを行うことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3 人	6 人	5 人		14 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11 人	3 人			14 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5 人	8 人	1 人		14 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8 人	3 人	3 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 日々のかかわりからその日の変化を把握し食事や入浴はもとより買い物、受診など必要に応じて柔軟に対応している 地域の関係作りや地域へのアプローチ、声掛けを積極的にしている 急な利用変更にも適切に対応できている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源が使えるところは使うようにしているがサービスが入ることで今まで支援して頂いた方が遠のくこともあり、地域の方に対して、理解と協力をお願いすることも必要だと思う 地域資源の情報収集が難しい地域もある 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者様一人ひとりに対する対応の仕方や本人の気持ちの変化に気づきその変化を職員間でも共有していく。 職員がその方の生活や地域の関係性を理解した上で、その日の変化に応じて柔軟な対応を心掛ける。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画

- ・体調や医療面で困っていることを積極的に主治医に相談する。
- ・地域包括支援センターの職員と連携していく
- ・地域の情報をもっと積極的に知るよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・緊急時はもとより定期受診の際にも現状や利用者様が不安を感じている事を相談したり、医療機関から要請の情報提供を行うなど医療機関との連携を図ることができた。
- ・地域包括支援センターの連携を図りながら困難事例の相談を行ったり、また新規の受け入れなど良い関係作りを行なっている。
- ・地域の活動に対して利用者様と積極的に参加し地域での楽しみや関わりを大切にすることができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	7 人	3 人	2 人	2 人	14 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5 人	6 人	1 人	2 人	14 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	5 人	7 人	1 人	1 人	14 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5 人	7 人	1 人	1 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様の変化に合わせて他機関との連携を図り、在宅での暮らしが安心できるように対応している。
- ・地域の活動やイベント情報を元に利用者様が参加できる活動 (健康祭り、学区の祭り、保育園の運動会、子供神輿等) 出向き参加することで地域とのつながりを作っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報が一部の町内 (乙多見、新町、宮の里) にとどまっており、利用者様の個々の地域活動の情報がなかなか把握しきれず、個人的に参加していただいている活動の把握のみになっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・体調や医療面で困っていることを積極的に主治医に相談する。
- ・事業所が関わりのある地域や町内会の活動に一人でも多く参加し地域との関係性を作っていく。
- ・利用者様が住む地域の情報を元に参加する意思を確認しながら地域の関係性の継続を支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

7. 運営

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	3 人	1 人	14 人

前回の改善計画
 ・地域交流カフェの活用を続け、参加人数を増やしていく

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・昨年、地域交流カフェで開催した「あっぱれももたろう体操」を町内会で継続して実施していると報告を受ける事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		6 人	7 人	1 人	14 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7 人	6 人		1 人	14 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9 人	4 人		1 人	14 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2 人	8 人	3 人	1 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・徘徊される利用者様について地域の方から情報や相談を受け地域包括職員と一緒に考えるなど地域と協働した取り組みを行っている。
 また利用者様が入院した際、同じ団地の方から「役員に報告してもらわないとみんな心配した」と苦情があり、今後こういったケースに対して教訓にすることができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・職員の意見として事業所のあり方についての方針や方向性が周知できていない意見が聞こえた。一部の職員だけでなく事業所のあり方や地域においてどう協働していくべきかを職員一人一人が考え、行動していく事ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ・年に 1 回、家族や、利用者様に向けてアンケートを実施し、意見を頂く。
 ・地域の方に頂いた意見を持ち帰り検討等を行い、利用者様が住みやすい環境を職員も考えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	2 人		14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・細目にヒヤリハットを多くあげ、全員で内容を共有し事故防止に努める。 ・みおつくしの読み合わせを行い自分自身を振り返る ・意見を言いやすい環境にしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議でみおつくしの読み合わせを行い、自分自身を振り返ると共に法人が求める人材像や職員の基本方針を確認する事ができている。 ・職員それぞれが事故防止についての意識は高く大きな事故もなく過ごす事ができている。 ・意見の言いやすい環境を目指しているが、個々の意見が少ない為もっと積極的な取組みを考え、意見が自由に言える活発な事業所をめざすことで質の向上を図っていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1 人	6 人	4 人	3 人	14 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5 人	6 人	3 人	14 人
③	地域連絡会に参加していますか		3 人	5 人	6 人	14 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 人	8 人	4 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が勉強したい研修に申込み参加する事ができた。 ・リスクについては個々の意識は高く持っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内の研修は、夜間帯の為参加率が悪い。 ・職場外の研修については少しずつ増やしてるつもりではあるが、全員が研修に参加できていない。研修後のフィードバックができていない ・ヒヤリハットで気づく点が少ない。またヒヤリハットや問題改善報告書で上がったことが全員で共有できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会や研修会にできる限り参加する。研修後事業所内でフィードバックを行う ・わからないことを何でも質問できたり相談できるよう職員間の関係性を良好にする ・ヒヤリハットの重要性を理解し、常に意識を持ちながら気付きを多く出し合いその都度検討し、月一回の会議で再確認を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 5 日 (18 : 30 ~21 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉田 三崎 益田 柴 近藤 出原 藤田 岡
戸田 前原 山田 東条 前橋 (和田)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	5 人		14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同生活の場でもあり人権・プライバシーに十分注意し、利用者様に配慮した対応に努めていく。 ・ 自分の愛称で呼ばれることを好まれる方は別として、できるだけ名前と呼ぶようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権、プライバシーについては、みおつくしを毎月会議で確認することにより職員一人一人の意識付けは、できつつあると思うが、時にフロア内でプライバシーにかかわるような話をしたり、「○○ちゃん」と友達感覚で話をするなど十分にできていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11 人	3 人			14 人
②	虐待は行われていない	10 人	4 人			14 人
③	プライバシーが守られている	2 人	11 人	1 人		14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10 人	4 人			14 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7 人	7 人			14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「拘束・虐待・個人情報の管理」については、研修を受けており適切な対応が来ている。 ・ 成年後見制度については必要に応じて活用できている 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシーは、目に見える形で守るだけではなく、職員同士の情報交換などによる何気ない会話の中にもあり、徹底した管理ができていない。 ・ 声のかけ方で利用者様に不愉快な思いや、顔色が変わるような気持ちにさせているのではないかと思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同生活の場であることを今一度認識して人権・プライバシーに十分注意し配慮した対応に努めていく。 (呼び名に注意する。) (職員間の伝達の際は事務所内もしくは小さな声で話をするようにする。) (自分自身に置き換えて言葉がけや不適切なケアにならない様十分注意し意識していく。) 	